# 共生ビジョンの変更について

## 1 定住自立圏構想推進要綱の改正に伴う変更

定住自立圏構想推進要綱の改正に伴い、第2次徳島東部地域定住自立圏共生 ビジョン(以下「共生ビジョン」という。)を変更し、中長期的な将来の人口 目標及び成果指標を次のとおり定める。

### (1) 中長期的な将来の人口目標

国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口を見ると、今後、 圏域人口は大きく減少するものとされている。

共生ビジョンに掲げる事業を推進することにより、長期的には圏域の各市 町村の地方版総合戦略における将来人口を維持することを目標とし、中期的 には平成37年の圏域人口の目標を次のとおりとする。

(単位:千人)

区分	平成27年	平成37年	
	実績	推計	目標
0-14歳	5 2	4 3	4 9
15-64歳	2 5 4	2 2 8	2 3 4
65歳以上	1 2 0	1 3 4	1 3 3
総数	4 3 5	4 0 5	4 1 6
(うち年齢不詳)	(9)	400	410

出典:実績は、総務省「国勢調査」(10月1日現在)

推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成25年3月推計)

#### (2) 成果指標

成果指標は、施策単位で設定することとし、指標及び目標値(平成32年度)については、次のとおりとする。

施策名	具体的取組	指標	当初值 (H27)	目標值 (H32)
地域医療の連携	徳島市民病院との連携強化事業	連携施設から徳島市民病院への紹介患者 数(年間)	12人	15人
子育て環境の充実	病児保育事業	病児保育利用延べ人数(年間)	5,933人	7,000人
公共施設の広域利用	圈域内図書館相互利用事業	相互利用登録者数(累計)	2,073人	3,400人
圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致	観光開発·観光誘致事業	連携市町村観光客入り込み数(年間)	6,703千人	6,900千人
地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進	特産品ブランド化・地産地消推進事業	とくしまIPPIN店認定数(累計)	202店	210店
地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成	コミュニティビジネス起業支援事業	コミュニティビジネスセミナー参加者数(年間)	68人	80人
圏域内への企業誘致の推進	企業誘致活動推進事業	誘致した企業数(累計)	26社	56社
中心市街地の都市機能の充実	中心市街地都市機能整備事業	徳島ひょうたん島水都祭来場者数(年間)	3万人	5万人
鳥獣害対策の推進	鳥獸害対策推進事業	鳥獣侵入防止柵の設置延長(H28~H32累計)	ı	7,500m
公共施設の広域利用	火葬場整備·利用促進事業	連携市町村住民利用者数(年間)	(供用前)	150人
環境保全活動の推進	地球温暖化対策推進事業	こどもエコチャレンジノート配布部数(年間)	461部	1,000部

施策名	具体的取組	指標	当初值 (H27)	目標值 (H32)
圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携	圏域道路網整備促進等事業	情報交換回数(年間)	01	<u> </u>
	スポーツ大会共同開催事業	参加者数(年間)	101人	(H28で終了)
文化・スポーツ交流の推進	一一一十二 公田口公古厅过田市带	相互利用回数(年間)	(H29から開始)	20回
	ニュースパーンガmの作生がガ事系	参加者数(年間)	(H29から開始)	200人
就農支援体制の連携強化	就農支援体制連携強化事業	経営力向上支援事業参加者数(年間)	51人	50人
移住・長期滞在の推進	移住,長期滞在推進事業	移住者数(年間)	54人	164人
情報システムの共同研究	情報システム共同研究事業	情報交換回数(年間)	回7	2回
圏域内市町村職員の人材育成	圏域内市町村職員人材育成事業	研修会開催回数(年間)	回7	2回
外部からの人材の確保	外部人材共同招へい事業	外部人材活用件数(H28~H32累計)	I	2件
化张马米维 电电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电	经贴调尚上阻才之研办 心間 冰車 娄	研究会開催回数(年間)	2回	30
回場では「ころ」「東洋古の民のご共に	1. 妖娃占1. 为 7. 必则 九五 加 压 宇 未	研究会参加自治体数(1回当たり)	11市町村	12市町村
地域づくり活動の育成・支援	地域づくり活動団体等育成・支援事業	地域づくり活動の参加者数(年間)	487人	1,000人

## 2 取組事業の変更に伴う変更

## (1) 施策(文化・スポーツ交流の推進)の協定内容 ※変更なし

圏域内の文化・スポーツの振興を図るため、住民がさまざまな文化・スポーツ活動に参加する機会を拡大し、文化・スポーツを通じた圏域内外の住民の交流を促進する。

### ① 中心市の役割

連携市町村、関係団体等と連携し、文化・スポーツ交流に資する事業を実施し、中心市の区域内の住民に周知して参加を促進するとともに、 連携市町村の調整を図る。

#### ② 近隣市町村の役割

中心市及び連携市町村並びに関係団体等と連携し、文化・スポーツ交流に資する事業を実施するとともに、近隣市町村の区域内の住民に周知し、参加を促進する。

### (2) 具体的な取組事業

事業名: ニュースポーツ用品の相互利用事業

連携市町村: 徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・

板野町

事業内容: 圏域内の市町村でニュースポーツ用品の相互利用を図る。 事業効果: 糖尿病予防をはじめとする本県全体の取組を圏域内で拡

大できる。

ニュースポーツ用品の購入費の負担が抑えられる。

既存のスポーツイベント開催時に活用することで、より大

規模な大会の開催が可能となる。

活用を想定する補助制度等:なし

#### 成果指標:

	当初値(H27)	目標値(H32)
相互利用回数	(未実施)	5 回
参加者数	(未実施)	200 人

以上